

情報誌 たかぎ



ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス info@vill.takagi.nagano.jp



身近にある自然に親しもう

豊かな自然を維持するために

喬木第二小学校 山学習

今月号の主な内容

- 広報たかぎ
 - ・防災体制の充実 …… 2～3面
 - ・10年後を考えるシンポジウム …… 4～5面
 - ・子ども子育て支援新制度 …… 6面
 - ・区会役員 学校評議員 …… 7面
- 棕鳩十記念館・図書館だより ……10面
- 学校だより 飯田養護学校 ……11面
- 健康アップPPK ……12面
- 社協だより ひなたぼっこ ……13面
- くりんネットたかぎ ……14面

2013

6

June



村の人口	6,531人(+9)
男	3,160人(+4)
女	3,371人(+5)
世帯数	2,039戸(+4)
(平成25年5月1日現在)	

編集 企画財政課／発行 喬木村役場 TEL 0265-33-2001 FAX 0265-33-3679
印刷 龍共印刷株式会社 (飯田市上郷黒田121-1)

安心・安全の村づくりのために..「防災体制の充実」



平成二二年度から設計・整備を進めてきました「デジタル防災行政無線移動システム」の整備が完了し、このたび竣工式が行われました。東日本大震災や長野県北部地震の発生で、災害時の情報伝達手段確保の重要性が改めて認識されています。

今回整備したデジタル防災行政無線移動系は、防災センタ―内の統制局と村内三箇所に設置した基地局を中継することにより、村内ほぼ全域をカバーできるようになり、無線機同士の通話が可能となりました。

山間部の避難所や避難者の収容人数が確保できる二次避難所には、半固定型の無線機を設置しました。

特に山間部は災害発生直後の被害状況把握が困難です。で、住民の皆さんからの情報伝達が重要となります。

大規模な災害が発生した場合の情報伝達手段としての活用が期待されるため、地域住民の皆さんとともに今後も訓練を重ねていく必要があります。

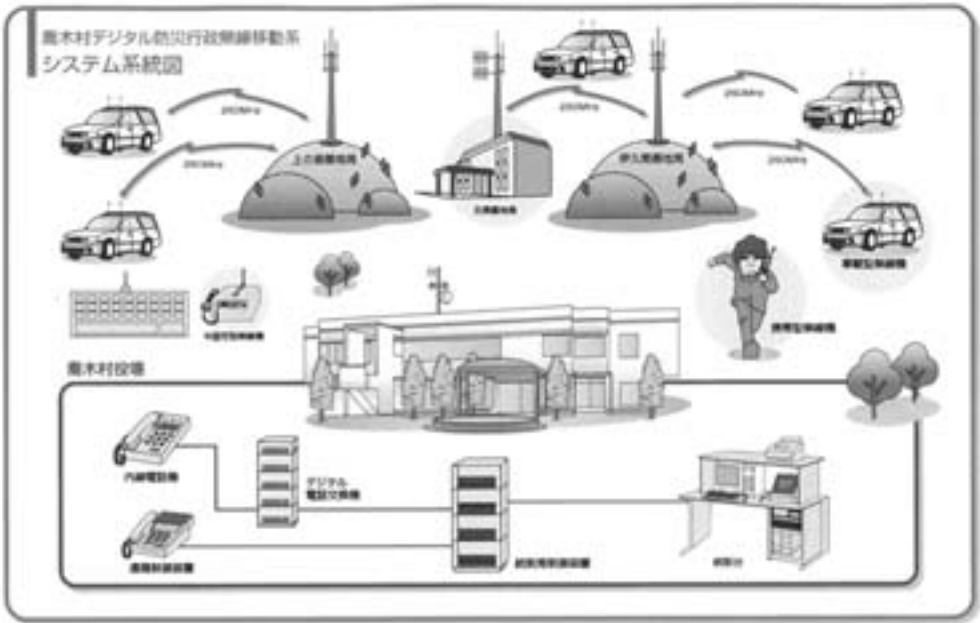
デジタル防災行政無線 移動システム整備完了

【移動局設備】

半固定局	9局
車載局	9局
携帯局	30局

【半固定局設置場所】

加々須区民会館
大島公民館
大和知公民館
氏乗集落センター
第一小学校
第二小学校
中学校
役場庁舎
福祉センター



災害時相互応援協定の締結

村では大規模な災害が発生した場合に備えて、平成二四年度に災害時応援協定を六件結びました。

この他にも県内市町村による物資や人員の相互応援、医療救護活動などの応援協定を締結しています。



名糖乳業(株)ダイドーとの協定締結

備蓄物資を計画的に整備します

村では計画的に備蓄物資を整備していますが、第一小学校隣にある旧給食調理場の改築に併せ、備蓄倉庫を整備しました。現在の備蓄数量は下表のとおりですが、村では整備できる数量が限られますので、各家庭でも最低三分の食料を目安に準備をするなど万が一の場合の対応をお願いします。

品目	数量
アルファ米 (100g)	3,000食
乾パン (100g)	768食
保存水 (2ℓ)	624本
毛布	420枚



【平成24年度に締結した災害時応援協定】

サークルK 信州喬木店	食料品、日用品の調達
北陸コカ・コーラボトリング(株)	飲用水の調達
名糖乳業(株)ダイドー販売部	飲用水の調達
竜東タクシー有限会社	要援護者の移送
竜東タクシー有限会社	災害、不審者等の情報提供
喬木村建設業協会 6社	災害時の土木作業協力

【雨量計システム設置箇所】

喬木村役場	第二小学校
加々須野田原会所	氏乗クラインガルテン
大島クラインガルテン	



これから雨の多い季節を迎えます。近年はゲリラ豪雨が各地で発生しています。ゲリラ豪雨は狭い地域で発生することが多いため、昨年度村では村内五箇所にも「雨量観測システム」を設置しました。この雨量データは村のホームページから確認することが出来ます。十分間や一時間雨量、過去のデータも見ることが出来ます。ご活用ください。

出水期を迎えます

平成25年度 天竜川上流水防演習

- 大規模水害・土砂災害対策広域連携実動訓練 -

平成25年5月26日 8:30～12:00 ※小雨決行

会場：飯田市川路地先（天竜川右岸）

どなたでも見学自由です

10年後の喬木村について考えるシンポジウム 『リニア・三遠南信道の到来を見据えて』

パネリスト・参加者から多くのご意見、提案がされました

十年後の喬木村を考える

リニア・三遠南信道時代の人口減少・高齢社会の現実



佐藤博一
副村長

リニア中央新幹線

リニア新幹線は一時間に五本運行される予定で、うち一本が飯田に停車するといわれています。

東京↓飯田間は五〇分、飯田↓名古屋間は三〇分です。

また東京や名古屋には世界とつながる空港があるため、この地域の将来を考える上で、国外ともつながった地域づくりを考えていく必要があります。

三遠南信自動車道

飯田と浜松の間約一〇〇キロを高規格道路で結びます。三遠南信自動車道開通の一番のメリットとしては、各種産業が集積している東海地方へ約九〇分で移動できることが上げられます。村としてもリニア・三遠南信道を有効に活用する

ための交通ネットワークを検討しており、氏乗雨沢地区にハーフインターの設置、またアクセス道路として期待できる県道上飯田線及び下條米川飯田線の早期改良を要望しています。

リニア開業前に到来する人口減少問題と対応策

国立社会保障人口問題研究所によると、リニア開業の二〇二七年には喬木村の人口は現在より九〇〇人減少すると予測されています。どの年代も均等に減少するのではなく、労働人口の減少が著しく見られます。このまま推移すると二〇四〇年には労働人口一人が年少・高齢人口一人を支えなくてはならない時代が到来します。

人口が減少し高齢社会を迎える中、リニア・三遠南信道開通を地域づくりはどう活かしていくかが課題となります。まずは労働人口減少をくい止める対策、若者が帰って来たいと思う地域づくり、高齢

者が暮らしやすい地域づくりが求められていますので、産業振興に携わっている方を含めた地域住民全体で考えていく必要があります。

リニア・三遠南信道を人口減少・高齢社会にどう活かすか

- ①労働人口減少をくい止める対策
広域で 雇用環境整備 産業創出 研究機関誘致
喬木で 地域特産品を活かした6次産業創造 定住促進対策
- ②若者が帰って来ようと思う地域づくり
広域で 地域の良さを認識する教育 地域文化の発信力強化
喬木で 豊かな自然と調和した住環境整備 子育て環境の充実
- ③高齢者が暮らしやすい地域づくり
広域で 医療・福祉環境、地域内公共交通ネットワーク整備
喬木で 生涯現役を支える健康づくり コンパクトな地域づくり

文化・教育の立場



教育委員長
職務代理
賜 洋子さん

現在の児童生徒は、一〇年後には一六歳〜二五歳に達し、実質的な生涯設計や自分の生

き方を具体的に考え始める年代になります。「ふるさとに想いを寄せる子ども」を育てるために、「ふるさと喬木」を意識させるキャリア教育に力を入れていきます。

今後はキャリア教育支援協議会(仮称)の設置や、保小・中連携教育の推進、「ふるさと喬木」の学習を進めていきます。



女性団体
連絡協議会長
木下洋子さん

女性の立場からの意見として、村の交流人口を増やすためには、まず温泉施設が必要だといった意見が寄せられています。グリーンツーリズムや農家民泊の方達からも温泉施設がほしいといった意見を聞いています。災害時にも役立つ温泉施設を整備できないか検討していただきたいと考えます。

また女性は旅行先でのおいしい食事が最大の楽しみです。NPOたかぎで計画しているツアーの昼食を、「おいしい季節の昼御前」にしたら魅力を感じると思います。料理の開発や調理についてもふるさと味の会や食生活改善推進協議

会などの女性も関わられるのではと考えます。

産業振興の立場



農業委員会
会長
宮下喜誉さん

農業委員会は委員自らが農業者であり、また農業関係団体の代表者で組織されています。委員会では農地を守ることを、農業振興を考えていく任務を持っています。喬木村の基幹産業はやっぱり農業であり、農業は命を守る産業だと考えます。

- ① リニアは人と情報を超高速で運んでくれますが、物流は期待できません。交流人口を増やすためにこの地域の良さを再発見し、何を残し何を活かしていくか、この地域の魅力をどう作っていくかが大切です。
- ② 現在取り組んでいる事項
- ③ 刈谷ハイウェイオアシスにおいて特産物の販売することで都会のニーズの調査
- ④ 村内活性化団体との情報交換
- ⑤ 都会の子供たちや一般の方を対象とした農業体験

- ④ 農業を教える里親制度
- ⑤ 今後力を入れる取り組み
- ⑥ 村独自産業の開発
- ⑦ 土地活用(優良農地を残し遊休農地を減らしていく)



信州
農業協
理事
みなみ 弘富さん

J A 喬木支所の基本目標

- ① 多様な担い手と地域のために頼りにされる営農事業の確立と農業の活性化に取り組みます
- ② 生産者手取り最大化に向け営業力強化による販売先拡充と『みなみ信州ブランド』の強化をはかります
- ③ 『くらしをつくる』
- ④ 事業を通じて組合員や地域のみなさまの安心な暮らしと地域活性化に貢献します
- ⑤ 『J Aをつくる』
- ⑥ 次世代につながる組織拡大と協同・参画が広がる組織づくりをします
- ⑦ 信頼され続けるJ Aの経営力を強化します
- ⑧ 【共感をつくる】
- ⑨ 食料・農業・地域を支えるJ Aの情報を積極的に発信します



商工会
会長
藤本芳男さん

商工会は商工業の窓口業務、中小企業のお手伝いをする業務、地域の産業振興を支援する業務を行っています。特に中小企業施策に重点を置いており、小規模事業所の経営支援体制の確立を図っています。

今後商工会が取り組むべきことは、リニアなどの工事に商工会がどの程度参画できるか(工事車両や労働者宿泊施設の確保など)、この地域の産業をどのように育成していくか(リニアは交流人口増、三遠南信道は物流の増)という点であり、これからの一〇年間で解決しなくてはならない課題です。

また村内で生産したものを村内で加工し販売する六次産業化にも取り組んでいきたいと考えます。そして高齢社会を迎えるに当たり、高齢者が生産者として活躍できる産業開発を支援していきたいと思



NPO法人
たかぎ理事長
下平 貢さん

NPO たかぎは平成二〇年四月に発足し、J A・商工会・村・いちご狩り・りんごオーナーなど一六の団体が構成しています。

NPO たかぎが支援している内容は次のとおりです。

- ① グリーンツーリズム (修学旅行のホームステイ)
 - ② 観光資源活用事業 (観光農園)
 - ③ 景観・環境事業 (くりん草・ポピー園など)
 - ④ 付加価値事業 (いちご・ブルーベリーのジャム加工・赤とんぼの会)
- 十年後の喬木村に向けて、NPO たかぎとJ A・商工会・行政が車の両輪となって活動しなければなりません。また全住民の参加のもと、あらゆる産業・産物の発掘、拡充、村内それぞれの地域間の連携のもとに活性化に努めていくことが大切です。
- 全村参加型スーパーチェーン「喬木村」の構築
- 喬木村には多くの農産物があります。この村を大きなスー

参加した中学生の感想

シンポジウムを聞いて村のことを知らなすぎと感じました。NPO たかぎの「スーパーチェーン」のように全員が気軽に話せ、いろいろなことに参加できる空気と改善策を見出しほしいです。難しくも深くのめりこめた時間になりました。

三年二組 木下 翔太くん

シンポジウムには多くの人が参加していました。一〇年後について村の人が本気になって考えていることがわかりました。僕たちは一〇年後二五歳になります。喬木村を引っ張っていく世代だと思えます。この会が開かれて本気になって考えることができよかったです。

三年二組 木下 雅也くん

平成27年4月からはじまる **子ども・子育て支援新制度** をご紹介します

子育てをめぐる課題の解決をめざします



課題 1

親の働く状況の違いにかかわらず、質の高い幼児期の学校教育・保育を受けられることが望まれてきました。



課題 2

核家族化や高齢化、また地域での人間関係の希薄化などにより、家庭や地域での子育て力が低下しているとされています。



課題 3

都市部を中心に保育所に入れない待機児童が存在します。一方、子どもの減少で、近くに保育の場がなくなった地域もあります。

新制度をよりよいものにするために、平成25年度に保護者の皆さんを対象としたニーズ調査を実施します。
ご協力をお願いします。

こうした課題の解決に向けて、『子ども・子育て支援新制度』では、次の取り組みを進めます。

課題 1

質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供します

幼稚園と保育所の良さをあわせ持つ【認定こども園】の普及を進めます。

【認定こども園】は、幼児期の学校教育・保育、地域での子育て支援を総合的に提供する施設であり、設置手続きの簡素化や、財政支援の充実・強化などによりその普及を進めます。



課題 2

子育ての相談や一時預かりの場を増やすなど、地域の子育てを一層充実させます

地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させます。

すべての家庭を対象に、親子が交流できる拠点を増やすなど、地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させるため、財政支援を強化します。



課題 3

待機児童の解消のため、保育の受入れ人数を増やします

市町村は、待機児童解消を計画的に進め、国もこれを支援します。

地域のニーズを踏まえ、市町村が認定こども園、保育所などを計画的に整備します。また、少人数の子どもを預かる保育ママ（家庭的保育）や小規模保育などの地域型保育も組み合わせ、待機児童の解消を計画的に進めます。

※保育所は、必要な基準を満たした上で、利用定員20人以上の子どもを保育する施設を指します。

新たに、少人数の子どもを預かる保育などへの財政支援を行います。

少人数の子どもを預かる保育ママ（家庭的保育）や小規模保育などの地域型保育への財政支援（地域型保育給付）を新たに行うことで、多様な保育を充実させ、受け入れられる子どもの人数を増やします。

子どもが減少傾向にある地域の保育を支援します

身近な地域での保育機能を確認します。

子どもが減少している地域では、保育所の統廃合などで、遠くの施設を利用したり、利用を断念したりしている実態があります。この改善のため、地域型保育給付（課題3-1参照）により少人数の保育施設などの安定的な運営を支援し、身近な地域での保育機能を確認します。

地域の多様な保育ニーズに対応します。

地域型保育の拠点は、認定こども園などと連携し保育内容の充実を図るとともに、放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点、一時預かりなどを併設することで、地域の多様な保育ニーズにも対応します。



平成25年度区長及び地区長 今年度の区長会の役員が選出されました

会 長 田中 利明さん（小川区長）
副会長 松島 芳久さん（阿島区長）

区	役 職	氏 名	住 所
阿 島	区 長	松 島 芳 久	溝口3
	副区長	三 石 世 紀	宮澤2
	会 計	尾 畑 正 人	藤の木
	北	宮 下 一 彦	五反田1
	寺の前	山 田 義 勝	寺の前2
	婦牛原	羽 生 正 幸	婦牛原1
	郭	水 野 義 人	藤の木
	町	近 藤 晃 由	上町3
	南	原 政 勝	里原3
小 川	区 長	田 中 利 明	両平上2
	副区長	筒 井 資 博	田本平3
	副区長	今 井 勝	馬場8
	馬 場	今 井 勝	馬場8
	両 平	平 澤 秀 文	両平上3
	田上川	筒 井 資 博	田本平3
	上 平	林 克 穂	寺耕地1
伊久間	区 長	吉 川 正 隆	伊久間5
	副区長	吉 津 重 義	伊久間13
	会 計	吉 川 文 人	伊久間8
富 田	区 長	福 与 和 公	富田4-1
	代理者	田 中 三 男	富田6-2
	会 計	木 下 浩 男	富田3-1
大和知	区 長	忠 平 隆 三	大和知1上
	代理者	横 前 寿 久	大和知3-1
	会 計	横 前 元	大和知3-4
氏 乗	区 長	萩 原 勲	貸又2
	代理者	伊 藤 勝 司	平栗
	会 計	束 原 靖 雄	氏乗下1
大 島	区 長	内 山 光 明	牧畑上
	副区長	筒 井 正 司	大島上平2
	会 計	内 山 正 信	大島中平1
	特別会計	内 山 勤	西村
加々須	区 長	小 澤 博	豊詰
	副区長	村 山 進	桃添上2
	会 計	河 合 一 夫	桃添下2
	特別会計	小 山 清 志	野田原上

平成25年度 学校評議員の皆さん

喬木第一小学校

氏 名	住 所	備 考
大 原 文 男	伊久間	椋記念図書館長
山 田 英 博	伊久間	民生児童委員協議会長
藤 本 芳 男	南	喬木村商工会長
古 瀬 由美子	中央保育園	中央保育園長
仁 科 妙 子	北保育園	北保育園長
宮 澤 保 文	婦牛原	前P T A会長
松 島 芳 久	南	阿島区長
村 山 蔵 男	加々須	生活安全指導員役員
瀧 浪 勝 幸	南	P T A会長

喬木第二小学校

氏 名	住 所	備 考
福 与 和 公	富 田	富田区長
忠 平 隆 三	大和知	大和知区長
萩 原 勲	氏 乗	氏乗区長
中 川 雄 介	富 田	富田分館長
土 屋 和 俊	大和知	大和知分館長
元 島 和 昭	氏 乗	氏乗分館長
塩 澤 勝 彦	富 田	富田育成会会長
近 藤 久美子	南保育園	南保育園長
塩 澤 真由美	富 田	元P T A役員
木 下 丈一郎	富 田	P T A会長

喬木中学校

氏 名	住 所	備 考
田 中 利 明	両 平	小川区長
城 下 武 男	北	社会教育委員長
木 下 光 子	町	元学校支援ボランティア コーディネーター
宮 下 喜 誉	加々須	農業委員会会長
忠 平 隆 三	大和知	社会福祉協議会長
市 瀬 兼 寿	町	交通安全協会会長
原 美 穂	馬 場	喬木村公民館長
松 澤 敏 之	北	前P T A会長



6月の結婚相談日

○日時 六月一五日 土曜日

○時間 午後七時三〇分〜午後八時三〇分

○場所 福祉センター第一会議室

※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。

○問い合わせ先 喬木村役場

保健福祉課福祉係

電話・33-5123

第1回 粗大ごみの有料収集

- 日時 6月2日(日)
- 時間 午前8時から11時までの3時間
※小雨決行
- 会場 運動公園第一駐車場
(略図参照)
- 業者 (株)南信サービス
☎35-2412

- 処分したいものを、直接持ち込み、業者に料金を払います。
- 家庭ごみに限ります。農業経営や事業系ごみ、産業廃棄物は出せません。
- 雨天の場合、布団は濡れないように持ち込んで下さい。
- 鉄くず類とは専用袋に入らないもので、ごみステーションに出せない物です。
- まだ使えるものは、リサイクルショップなどに持ち込みましょう。

※次回は10月6日(日)に有料収集を予定しています。



分別収集の徹底とリサイクルで、ごみの減量にご協力をお願いします。

6月の健康体操教室



次の各会場で行います。どなたでも気軽にご参加いただけますので、是非お越し下さい。

対象地区	会場	開催日	開催時間
北	北コミュニティ消防センター	6/5、6/19	午前10時
郭・寺の前	第一公民館	6/7、6/21	午後1時半
帰牛原・加々須	帰牛原消防センター	6/3、6/17	午後1時半
町	阿島傘伝承館	6/12、6/26	午後1時半
南	南農事集会所	6/12、6/26	午前10時
馬場・両平・伊久間	福祉センター	6/10、6/24	午後1時半
上平	上平集落センター	6/14、6/28	午後1時半
田上川	田上川消防センター	6/3、6/17	午前10時
富田・大和知・氏乗	富田陶芸館	6/10、6/24	午前10時
大島	大島公民館	6/5、6/19	午後1時半

○筋力アップ体操教室

どなたでもご参加いただけます。

開催日	会場	開催時間
6月8日(土)	福祉センター2階	午後7時半
6月25日(火)	福祉センター2階	午前10時半

問い合わせ先 役場 保健福祉課包括支援係 ☎33-1120

5月の村税等

	納期限	口座振替日
固定資産税(第1期)	5月31日(金)	5月27日(月) ◎口座振替の方は預金の残高確認をお願いします。
国保税(第2期)		
介護保険料		
後期高齢保険料		
保育料		
上下水道料		

(株)諏訪丸光発行の全国百貨店共通商品券をお持ちの方へ

（株）諏訪丸光の事業を引き継いだ（株）まるみつが清算手続きを開始したことに伴い、（株）諏訪丸光発行の全国百貨店共通商品券は、平成二五年三月三十一日をもって使用できなくなりました。当該商品券をお持ちの方は、資金決済に関する法律に基づき還付を受けることができますので、還付を希望される方は七月一日までに左記窓口までお申し出下さい。
関東財務局理財部
金融監督第五課

☎04816001152

6月1日から10日は、電波利用環境保護周知啓発強化期間です。私たちみんなの財産である電波の良好な利用環境を守るため、不法無線局をなくし、電波を正しく使いましょう。

「守ろう！電波のルール」

電波に関することは、総務省信越総合通信局までお気軽に御相談ください。

- ★無線設備への混信・妨害及び違法な無線設備の情報に関すること
監視調査課 (☎026-234-9976)

- ★テレビ・ラジオなど放送の受信障害に関すること
受信障害対策官
(☎026-234-9991)



喬木村風景写真 コンテスト作品募集

農村の田園風景・夕焼け・四季の行事・花など喬木の風景を題材にした、風景写真を募集します。

○募集期間

四月二日～二月三日

○作品

一人三点以内
未発表のもので、募集用紙を添付して応募してください。

○サイズ

4ツ切サイズ
254^{mm}×305^{mm}
(4ツ切ワイドは不可)

○展示

応募作品は、「椋鳩十記念館 図書館 村民ギャラリー」にて、二〇一四年一月四日～一月三日まで展示します。入選作品は、「長野県自治会館エントランスホール」にて、二〇一四年三月に展示します。

○賞

特選一点 優秀賞一点
入選三点 特別賞数点
賞の発表は「情報誌たかぎ」紙面等で発表します。(副賞もありません。)

○審査方法 審査は、事務局が依頼した審査員が行います。

○その他 入賞作品は返却しません。

入選作品の著作権は、喬木村に帰属します。

作品の応募にかかる送料は、応募者負担とさせていただきます。

○応募先・問い合わせ先

〒三九五―一〇七
喬木村六六四番地
喬木村役場 総務課
情報統計係

☎ 33―3666 (直通)

✉ info@vill.takaginagano.jp



学校給食費について

平成二五年度の給食費につきましては、給食予定日数(昨年度より給食日数は一日増)より集金額を下記のとおり決定します。

なお給食費の納入は、口座振替になっています。年間給食費は、一〇回で五月～二月

までにより振り替えさせていただきますのでご了承ください。

	第一小学校	第二小学校	中学校
給食費 1食分	260円	260円	310円
年間給食日数	206日	204日	206日
総額	53,560円	53,040円	63,860円
5月分給食費	5,860円	5,340円	6,260円
6～2月分給食費	5,300円	5,300円	6,400円

○お願い

- ①給食費振替日は、毎月二五日です。
- ②給食費は欠食した場合も納めていただきます。ただし、給食停止届が提出され、欠食の期間が数ヶ月の場合は、口座振替を停止いたします。
- ③病气・けが等で五日以上欠食する場合は、給食が止まった日数分の給食費を後日返還いたします。欠席が長期

になる場合は、担任の先生までご連絡ください。

④学校行事等による欠食の場合

合は給食費引き落とし口座へ返金いたします。給食費の返金は、年度末に一括して返金いたします。

○問い合わせ先

喬木村教育委員会
☎ 33―2002

親子リトミック教室に参加してみませんか

喬木村総合型地域スポーツクラブでは、1歳～3歳位のお子さんと保護者の方を対象に、毎月リトミック教室を開催します。リトミックとは、リズムを使って音楽を体で体験し、想像力や表現力を養い、心と体の調和を作り出す総合教育です。この機会に是非体

○講師

長沼香先生

○持ち物

参加費(親子一組二〇〇円)
水筒、タオル

○問い合わせ先

喬木村総合型
地域スポーツクラブ
☎ 33―2002

○日時

日にち	時間	場所
5月23日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
6月27日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
7月25日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
8月22日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
9月26日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
10月24日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
11月28日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
12月26日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
1月23日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
2月27日(木)	10:30~11:30	こども学遊館
3月27日(木)	10:30~11:30	福祉センター 多目的ホール



椋鳩十記念館 だより

記念図書館

第86号

椋鳩十記念館・記念図書館 TEL 33-4569 FAX 33-4599

椋鳩十記念館・記念図書館 開館20周年記念誌発刊

椋鳩十記念館・記念図書館開館20周年記念事業の一つとして、3月末に「開館20周年記念誌(紀要第4号)」を発刊しました。発行部数300部で、村内の関係者や鹿児島県の椋鳩十遺族会、文学館の他、飯田下伊那の小中学校などに寄贈しました。

- 内容：(1) 開館20年のあゆみ
 ・記念館・図書館設立気運の高まり
 ・開館当時の思い出
 ・開館以後の主な出来事
 (2) 夕やけ祭のあゆみ
 (3) 読書感想文コンクールのあゆみ
 ・入賞者一覧
 (4) 現在の状況・ギャラリー展一覧
 (5) 椋鳩十先生講演記録



1部 1,000円
記念館にて販売

図書館のイベントに参加して スタンプをたくさんあつめよう!



図書館では、四月のおたのしみ会より「お楽しみスタンプカード」を始めました。図書館で行われるイベントに参加すると、

お知らせ

第26回 椋鳩十賞 読書感想文コンクール 課題作品決定

今年度は、小学校連学年は2つの課題作品から選べるようになりました。

- 選考委員長 北沢 彰利 先生
 副委員長 木下 洋子 先生
 松崎 行代 先生

委員は、教育委員長ほか17名の新しい組織で選考します。
 締切：平成25年9月24日(火)

- 清原健彦「清原健彦展」
(5/3〜5/19)
- 椋鳩十記念館企画展
(5/28〜6/9)
- 井原久美・福島竜馬
「水彩画二人展」
(6/11〜6/30)

カードにスタンプを押します。たくさん集めた方にはプレゼントもありませんので、子どもから大人の方までぜひどうぞ！
 対象となるのは、「おたのしみ会(土曜日おはなし会)【おはなしのへや】」です。

- ### ギャラリー展へどうぞ!
- ブックススタート7カ月児
絵本の会 6月21日(金)
 - おたのしみ会(予定)
6月22日(土)
 - ブックススタート1歳児
おはなしのへや 6月26日(水)
 - 土曜日おはなし会
毎週土曜日

5月下旬・6月の行事

第26回 椋鳩十賞 読書感想文コンクール

主催 善本村 善本村教育委員会・椋鳩十記念館
 後援 長野県教育委員会・信濃毎日新聞社

締切 平成25年9月24日(火)

提出先 〒385-1011 長野県下伊那郡善本村1400-2 椋鳩十記念館 TEL.0265-33-4599 FAX.0265-33-4599

結果発表 平成25年10月15日(金)
(入賞者のみに連絡します)

応募規定 400字以内の原稿用紙2枚程度(低学年12枚)
 1日 作品名・出版社名
 2日 郵便番号・応募者住所
 3日 郵便番号・学校所在地
 4日 学校名(学年・姓・名・姓)
 5日 感想文の題
 5日の封筒を使用してください。
 宛先をお間違いなくしてください。

賞 別
 ● 椋鳩十賞 連学年・中学一年 各1点 計15点
 ● 優秀賞 連学年・中学一年 各1点 計15点
 ● 奨励賞 各学年各1点

表彰式 11月24日(日)「椋鳩十夕やけ祭」式典
 受賞された方は当日式典にて表彰下さい。
 ※賞状が一文書の場合は事前にご連絡下さい。

学年	課題作品	企業・業種	出版社
小学校 1・2年	のうさぎのおかあさん くまのおやじ	善本村の企業 のうさぎのおかあさん くまのおやじ 学年別1冊1冊	善本村 ポプラ社 福嶋社 福嶋社
小学校 3・4年	山のぬし 大造じいさんとガン	椋鳩十企業17 学校別1冊1冊 椋鳩十企業10 椋鳩十企業2冊	ポプラ社 福嶋社 ポプラ社 福嶋社
小学校 5・6年	アルプスの猛犬 王者の座	椋鳩十企業17 学校別1冊1冊 椋鳩十企業10 椋鳩十企業2冊	ポプラ社 福嶋社 ポプラ社 福嶋社
中学校	丘の野犬 消えた野犬	椋鳩十企業17 学校別1冊1冊 椋鳩十企業10 椋鳩十企業2冊	ポプラ社 福嶋社 福嶋社 小峰書店
一 般	山の恋	椋鳩十の社	福嶋社



平成25年度がスタートしました。 本年度もよろしくお願ひします。

4月5日(金)に平成25年度の入学式が行われました。小学部7名、中学部19名、高等部29名、計55名の新入学生が仲間入りし、総勢202名のスタートです。喬木村からも議長様、教育委員会の皆様等々、たくさんの皆様にご出席いただき、お祝いしていただきました。ありがとうございました。

一日を夢中で過ごした子どもたちの 「満足と明日への期待」の表情が溢れる学校をめざして

飯田養護学校の玄関ホールにある陶壁画には、一日を夢中で過ごした子どもたちの「満足と明日への期待」が表現されており、開校時から飯田養護学校がめざす子どもたちの姿の象徴として引き継がれてきています。

本年度もこうした子どもたちの姿を大切に、1日1日取り組んでいきたいと思ひます。また、喬木村の小中学校の児童生徒さんとの交流も楽しみにしています。



「さよなら、さよなら、またあした」画：田村一二

25年度の主な行事

25年度の主な行事	
4月5日(金)	入学式
6月1日(土)	運動会
6月5日(水)	中学交流①
6月7日(金)	第一小交流①
7月10日(水)	第二小交流①
7月4日(木)	Aコープサマーセール
10月12日(土)	花の木祭
10月18日(金)	第一小交流②
10月23日(水)	中学交流②
10月30日(水)	第二小交流②
3月19日(土)	卒業式

喬木村国民健康保険 について

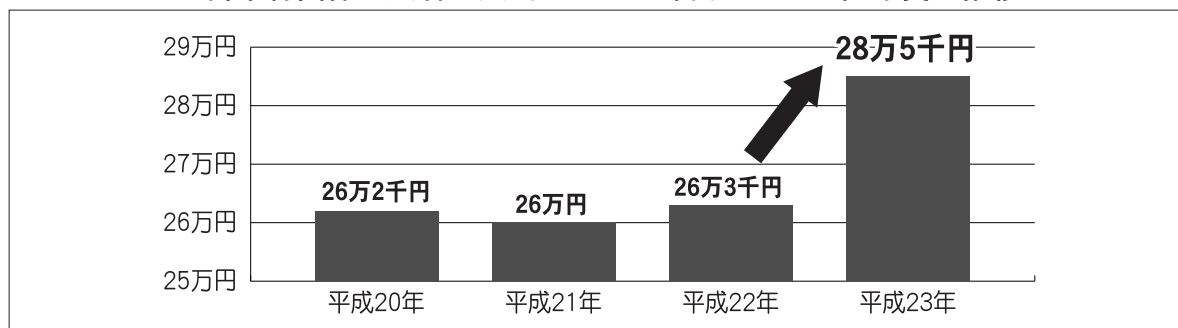
【保険係】



一人ひとりが心掛けることで医療費は節約できます。
ご協力をお願いします！！

村の医療費の推移をみると近年増加傾向にあります。H24年度はH23年度よりさらに大幅に増える見込みです。

《喬木村国保加入者1人当たりの1年間にかかる医療費の推移》



医療費の増加の原因は、高齢化の進行のほかに、生活習慣病の増加や重複診療、緊急性のない時間外診療なども大きな要因となっています。

医療費が増えるとうなる？

国民健康保険税は、その年の医療費の見込み額を考慮し決定します。医療費が増えると、国民健康保険税も増えていきます。

医療費を節約するために

●毎年、健診を受け生活習慣病の予防に努めましょう

健診で治療が必要な状態を早期に発見できれば、健康維持と医療費の抑制につながります。なお40～74歳の方については、健診は義務化されています。

●かかりつけ医をもちましょう

今までの病歴を把握したうえで、細やかな対応をしてもらえます。

●重複診療をやめましょう

同じ病気で複数の病院にかかるると、不必要な検査・投薬等を繰り返すため医療費の無駄使いとなり、ご自身も体調を悪化させてしまうことがあります。

●時間外・休日診療はなるべく避けましょう

時間外診療は緊急の場合以外はやめましょう。割増料金がかかるうえに、急病患者の治療に支障をきたす恐れがあります。

●薬は正しく使いましょう

自己判断で量を加減したり中止したりすると症状が悪化することもあります。薬が余っているときは医師や薬剤師に相談しましょう。

●ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と効能・効果はほぼ同じであり、低価格のため、医療費を低く抑えられます。医師、薬剤師に相談しましょう。



社協だより ひなたぼっこ



社会福祉法人 高木村社会福祉協議会 電話 33-4567 / fax 33-4619

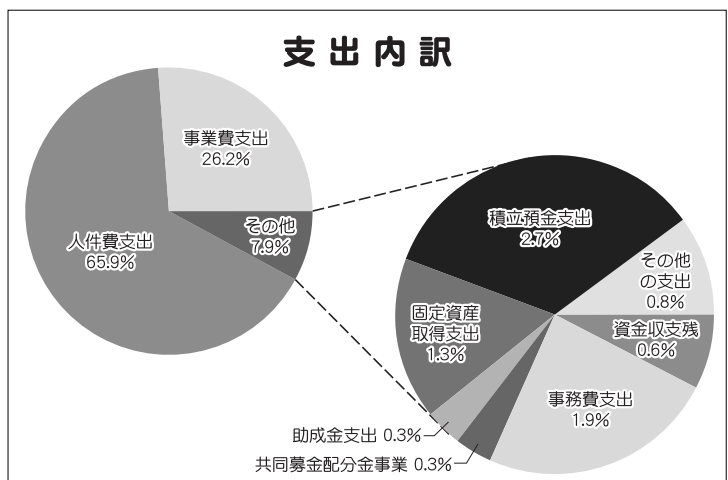
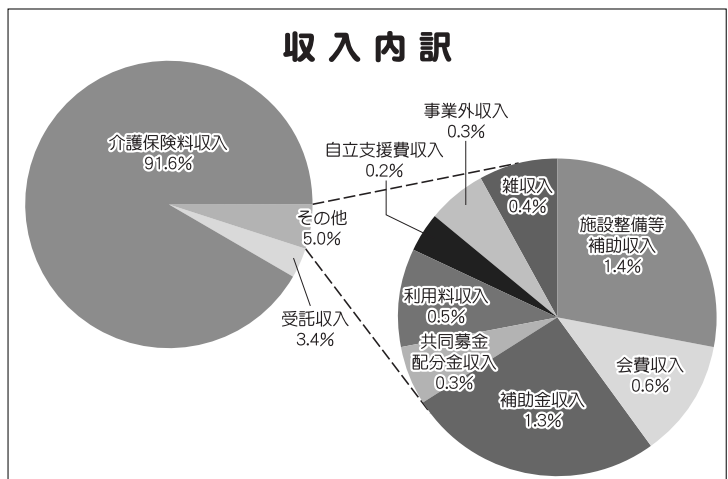
平成25年度 高木村社会福祉協議会 予算 誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを目指します

【予算総額】 442,742千円

(単位：千円)

収入	
科目	金額
会費収入	2,620
寄付金収入	1
補助金収入	5,700
受託収入	15,076
共同募金配分金収入	1,477
介護保険料収入	405,490
利用料収入	2,028
自立支援費収入	756
事業外収入	1,526
雑収入	1,668
経常収入計	436,342
施設整備等補助金収入	6,400
収入計	442,742

支出	
科目	金額
人件費支出	291,699
事務費支出	8,323
事業費支出	116,145
共同募金配分金事業	1,477
助成金支出	1,215
経常支出計	418,859
固定資産取得支出	5,600
積立預金積立支出	12,121
その他の支出	3,404
資金収支残	2,758
支出合計	442,742



今年度も地域の皆様との協働による地域福祉事業の推進と、介護保険におけるサービス提供事業者として、福祉水準の向上を目指して、地域に信頼される法人に努めます。

※平成25年度事業計画詳細については、5月発行社協だより23号差し込みの物をご覧ください。

6月のお知らせ

*心配ごと相談 7日 午前10時～ 福祉センター
(民生児童委員・行政相談員)



いちごch「週刊たかぎニュース」 ～ こんな取材がありました～

くりんネット
たかぎ

総務課・情報統計係

TEL 33-3666

FAX 33-3669

新規就農者激励会が行われました (村主催では6年ぶり)

概ね平成23年度以降に喬木村内で就農した、8組10人（ご夫婦を1組として）の皆さんを対象に、農業委員会、議会、JA、県農業改良普及センター、農業経営者連盟の皆さん等、約40名が出席して新規就農者を激励しました。



いちご、柿、花、養鶏、野菜等々、それぞれの分野で就農されました。

頼もしい姿に出席者の笑顔あふれる会となりました。

「週刊たかぎニュース」では、ご夫婦でダリア栽培の新規就農した、富田の多田頼充さんをご紹介します。



中山間地での若手就農は貴重な事例であり、またみなみ信州は国内最高レベルである、花への取り組みです。

新規就農の話題は、今後ご紹介させていただきたいと思います！



いちごのドライフルーツが誕生しました！



村の顔とも言える「イチゴ」のドライフルーツが完成！
喬木村からのお土産としてすでに大人気です！

喬木村のおいしいイチゴからつくられるドライフルーツで、甘酸っぱくジューシーな食感。



1袋 350円

農村交流研修センターで販売されています。

お土産だけでなく、健康おやつとして召し上がってみてはいかがでしょうか？

【問い合わせ先】 ☎33-3999

ラベルデザインは、4月に着任したばかりの地域おこし協力隊員のお2人が考案。宣伝ポップも手書きで作成したそうです。

